$2019.8.24(\pm)$ 

第5次越谷市総合振興計画の策定・ 越谷市都市計画マスタープランの改定に伴う

## 若者まちづくり懇談会ニュース



テ━マ━ 『越谷の"妄想年表"をつくる』

ー住み続けるための将来のまちづくりを考えようー



8月18日(日)の第1回に続き、第2回若者まちづくり懇談会を開催しました。今回は、市内 の若者17人と、市役所若手職員4人で話し合いました。

最初に、「越谷"素"小説」のプロモーション・ムービーを視聴し、小説の執筆者のひとりであ る花房茂さんに"越谷愛"をテーマにご自身の経験やまちづくりに対する想いを語っていただきま した(p2)。その後のグループワークでは、『わたしの中にある越谷の記憶』を自己紹介カードに 書き、年表に貼りながら紹介しました(p3~4)。それから2回、グループを替えて、「10年後のわ たしと越谷」「20年後のわたしと越谷」について"妄想"し、意見交換をしました(p5~8)。休憩 の後、最初のグループに戻って、意見交換を振り返りながら、10年後の越谷市をイメージした『妄 想年表』を作りました(p9~10)。最後に全体の場でグループごとに発表した後、感想カードを 書き(p10~12)、第2回の若者まちづくり懇談会を終了しました。

参加した若者にとって、未来の自分とまちの姿を合わせて考えてみることはとても新鮮だった ようです。将来自分は何になりたいかということを考えさせられる機会は増えているのかも知れ ませんが、それはあくまで自分のことです。「学校の授業としてこういった機会があってもよい のではないか。」「こんな機会があればまた参加したい。」といった感想もいただきました。

最後に、越谷市市長公室政策担当部長より「現在の越谷をもっとよく知り、みんなで共有した うえで、より良い未来についていろいろな人達と話し合うことが夢の実現につながるのだと思い ます。みなさんがこれからの越谷を育てていく主人公なのです。」というメッセージが送られま した。

### く第2回プログラム>

ステップ1:はじめに

ステップ2:君は『越谷"素"小説』って知ってる? ステップ3:わたしの中にある越谷の記憶と妄想

【ラウンド1】

わたしの中にある「越谷の記憶」 ~ワールドカフェ方式で話し合い~

【ラウンド2】

10年後のわたしと越谷を妄想してみよう!

【ラウンド3】

20年後のわたしと越谷を妄想してみよう!

ステップ4:越谷の『妄想年表』を考えよう!

ステップ5:グループでまとめた考えを発表します

ステップ6:まとめ

### **№ ワールドカフェ方式の手順**

### くラウンド2>

- ①グループで一番遅い月に生 まれた人をホストとしてテ ーブルに残し、他の人は別 のテーブルに移動する。
- ②自身と越谷市の10年後を想 像して理想の姿を考える。

### くラウンド3>

- ①ホストは引き続きテーブル に残り、再度、他の人は別 のテーブルに移動する。
- ②自身と越谷市の20年後を想 像して理想の姿を考える。

### 君は『越谷"素"小説』って知ってる?

「越谷"素"小説」プロモーション・ムービーを視聴後、「越谷"素"小説」の執筆者の 花房茂氏 (HANABUSA DESIGN代表) から、"越谷愛"を語っていただきました。



### 『越谷"素"小説』とは

越谷市民の皆さん14人にご協力をいただき、それぞれの暮らしの中で感じる幸せをテーマに、 ご自身の体験を私小説としてご執筆いただきました。越谷市が舞台になった市民一人ひとりの物 語は、ふるさとを愛する人たちに共感を生む内容となっています。



## 花房茂さんのお話

### ■自己紹介

デザイナーとして店舗デザインや商品開発に長く携わり、2010年に独立、デザインの力で地元越谷を盛り上げたいと、越谷市の創業支援施設「二番館」にオフィスを置きハナブサデザインをスタートさせる。越谷市の地域資源を生かした"越谷ならでは"の魅力をデザインし提案している。

### ■越谷の魅力を発信

創業した当時は、それまでやっていた店舗デザインの仕事と越谷市での活動を両立していたが、東日本大震災をきっかけに越谷市での活動が中心になった。真剣にまちと向い合い、地域の情報を集めたり発信したりし始める。そうした企画を具体化する過程の中で、今まで見えなかったことが見え、どんどん越谷のまちの魅力にはまっていった。私が越谷のまちを見て良いなと思ったところを切り取り、ポスター風にアレンジしてホームページやSNSに掲載すると、越谷を「いいね」と言ってくれる人が多くなった。

越谷の風景を切り絵のようにイラストで表現していく。写真とは違った新しい越谷が見えてくる。現在も越谷の風景をデザインし、風景写真と共に越谷の新しい魅力を「越谷シルエット」として制作し発信し続けている。私たちが暮らすまちを、自分たちの手で魅力的に発信することは、やり甲斐がありライフワークとして続けていきたい。

### ■伝統工芸のだるま

だるま製作会社の工房でお話を聞いている時、目の前の棚の上に飾ってあった木製の型と木型に張られた和紙のだるまを見て「これで何かを創りたい」と強く思った。

越谷のだるまの端正な形に魅かれて、そのボディを活かして英字新聞を張っただるまを作ったのが第1号、2011年だった。そこから和柄の和紙や千代紙を張っただるまや歌舞伎風やゼブラ模様など新しいデザインのだるまを"越谷ならでは"のアート作品として制作し発信している。

最近は、だるまの産地越谷のアピールと宿場町であった旧日光街道沿いの商店街の活性化のため、アーティストを交えてアートイベントも行っている。

### ■籠染灯籠

藍染めの技術のひとつであり、現在は生産をしていない"籠染め"を手がけていた中野形染工場に眠っていた籠染めの型を初めて見た時の衝撃たるや、いまでも忘れない。円筒状の真鍮板には伝統の和柄が刻まれ、それもほとんどの柄が一点モノだった。工房に山のように積まれた型は、まるで彫刻のように輝いた。「この繊細な技術を未来に繋げていきたい」という想いと、まちおこしの観光資源に育てることを夢見て"籠染灯籠"を開発し、プロジェクトをスタートした。

2015年には経済産業省のThe Wonder500TM

に認定され、メディアで も取り上げられることが 増えた。



## わたしの中にある「越谷の記憶」 〈ラウンド1〉

自己紹介カードに『わたしの中にある「越谷の記憶」』を書き、 年表に貼って、グループ内で自己紹介をしました。

年	わたしの中にある「越谷の記憶」				
1990 (H2)	[1990年頃] 越谷に引っ越した幼馴染のもとに遊びに行った(南荻島)。 北越谷駅から歩くのが大変だった。サンシティでピアノの発 表会。人生初の晴れ舞台でした!				
	[1995年頃] 南越谷阿波踊り:祭りに行けば必ず友達と会えた。 しらこばと水上公園:夏になると、友達と自転車で しらこばと水上公園に行った。お昼に食べるカップ ラーメンはなぜか美味しかった。 [1999年頃] 市内の中学校を卒業。				
2000 (H12)	[2000年頃] 高校生の頃、夏休みに友達と大学見学で、 埼玉県立大学に行った。新しい校舎がきれ いだったことを覚えてます。 [2004年頃] 小さい時に母と2人で雪合戦をした ことが、とても楽しかったです。				
	[2005年頃] 越谷花火大会。祖父に連れられて中央市民会館の前 で花火を見ました。今までで1番近くで花火を見て、 とても迫力があったのを覚えています。元荒川の桜。 家族で4月に土手で花見をしていました。				
	[2006年頃] 私は七五三で 7 才の頃、服を着飾って花田苑に行きました。親や祖父母と共に行ったのですが、きれいな場所で皆にお祝いされ、とても嬉しかったのを今でも覚えています。またキャンベルタウン公園に行き、動物達とたくさん触れ合ったのも良い思い出です。				
	[2008年頃] サンシティにイルミネーションを見に行ったこと。その時 に弟とぶつかって、歯が抜けどっかいってしまった。				
	[2008年頃] 小学4年生の時に社会科見学でリユースに行った。他の市町村だとプラスチックゴミなど分別しなければならない所も多いが、越谷は分別しなくて済むので楽だということを思い出した。その後、理科の月の満ち欠けの単元のページで、リユースと月がなぜか写っていたのが印象的だった。とうろう流しのPRをもっとしてほしい。				
2010 (H22)	[2012年頃] 越谷のとなりの町に住んでいるので、来る機会は多いのですが、特に小学生の時に見た越谷花火大会の景色がよく印象に残っています。当時は母方の親戚が集まるイベントでもあったので楽しみの一つでした。そういった機会も最近は減ってしまい、花火も遠くから見ることが多くなってしまいましたが、あの頃に見た景色は忘れられません。				

### [2014年頃]

2014年に獨協埼玉中学に入学して以降、中高6年間で越谷市の色々な所を回りました。2019年には日本地理学会で、越谷市の実態調査をポスターに書いて学会発表をしました。

2015 (H27)

### [2016年頃]

2016年に初めて越谷に来た(大学入学時)。第一印象としては元荒川沿いの桜がとてもキレイで自然が豊かな反面、レイクタウンなどの商業施設も充実していて、都市化と自然がうまく融合しているなと感じました。

#### [2018年頃]

大学進学から1人暮らしを始め、越谷市に住みはじめました。物件探しをしている時や大学に通いはじめてから見た元荒川の川原の桜がすごくきれいで印象的でした。今年の春にもとてもきれいに咲いていて、来年も楽しみです。山があまり近くにはないけど、自然が多いイメージがあります。

### [2018年頃]

元荒川沿いに毎年咲いている桜がとてもきれいで、毎年見に行っているが、とても印象に残っています。

### [2018年頃]

私は、高校に入学してからほぼ毎日、越谷に来ています。中学生の頃もレイクタウンに行くときは越谷に来ていますが、年に数回ほどで越谷について何も知りませんでした。自然も多く行事なども多いので、良い市だと思います。

### [2018年頃]

今の高校から初めて歩いた時に見た多くの田 んぼが強く印象に残っている。また初めてレ イクタウンに行った時、広さにおどろいた。

2019 (H31) (R1) [2018~2019年頃]

高校受験を控えた2018年から学校見学等で越谷を訪れるようになった。 今年(2019年)からは通学で、殆ど毎日越谷に来ている。越谷駅を利用す るのは今日で2回目なので、越谷の記憶は通学風景や学校生活が主。

### [2019年頃]

大学受験で初めて来た。北越谷で降りるはずが急行に乗ってしまい、あわて てしまったことがあった。地元より人が多くておどろいた。東京に行きやす くて楽しい。レイクでの思い出。

### [2019年頃]

『越谷国際交流フェスティバル』現在、国際目標となっているSDGsの歩みや、越谷民、日本民ではない第3者の目線で色々とお話をして下さったので、1日という短い時間でしたが、とても記憶に残っています。

### [2019年頃]

わたしの中にある「越谷の記憶」は、自分が通っている越谷総合技術高校です。3年間通う中で、たくさんの思い出があり、記憶に残っていることが多いです。またこれから大人になっていっても、記憶に残り続けていくと思います。

### [2019年頃]

先日、インターンシップで越谷市役所建設部治水課を伺わせて頂きました。その際に、一級河川を始めとする様々な河川と越谷市の関わり、水害を防ぐための取り組みなど、多くのことを学ぶことができました。

## 10年後、20年後のわたしと越谷を妄想してみよう!

くラウンド2>くラウンド3>

ワールドカフェ方式で10年後、20年後のわたしと越谷を妄想し、理想の姿を話し合いました。

		1 グループ )
	自分の理想の姿	越谷の理想の姿
10 年後	●社会人?として働く。 ●地元で社会人となり働いている。 ●働いている。 ●越谷に住んで(引越して)今と同じ仕事をしている。 ●海外に住んでいる。日本や越谷の魅力を発信している。 ●働きながら友達と飲みたい。 ●越谷をもっと好きになっている。越谷の魅力発信、10年間の集大成の展示会。越谷発、日本初の越谷アートイベントの開催。	<ul> <li>○留学生に「越谷良い!」と思ってもらいたい。</li> <li>○子どももお年寄りも安心してすめる街。</li> <li>○今ある自然や行事は変わらず、ビルや学校、大学などがたくさん出来ている。</li> <li>○保育園、幼稚園がいっぱいできてる。</li> <li>○美術館、博物館、科学センターとか(中高、大人バージョン)作ってほしい。</li> <li>○都市化が進む。</li> <li>○レイクタウンのような施設が増える。</li> <li>○戻ってきやすい市になっていたらいいな。</li> <li>○川がきれいになっていて自然が増えている。</li> <li>○桜とか緑の多さとかそのままで、きれいな街になってる。</li> <li>○くわいがもっと有名に!</li> <li>○アーティストやクリエイターが集うまちになっている。</li> </ul>
20 年後	◆引き続き越谷市で住み、働いている。 ◆草加、越谷周辺で、市役所で働きながら趣味の充実に努める。 ◆同じ仕事をずっと続けて、色んな経験をしていると思います。 埼玉県内か東京のどちらかに住んでいると思います。 ◆公務員としてそのまま働き続ける。 ◆国際関係の会社を起業している。 ◆結婚して地方に移住。	<ul> <li>○時代の流れにのり、あこがれを持たれる街になってほしい(住みやすい街)。</li> <li>○古くなったインフラの工事が盛んに行われている。</li> <li>○人口が減り、空き屋や余っている土地を新規事業やイベント、子育てのための施設などへ有効利用。</li> <li>○保育施設、介護施設の増加。</li> <li>○高齢化が進むため、老人ホームや交流の出来る場所(スーパーなど)を充実させる。</li> <li>○子育てしやすい環境を。</li> <li>○日比谷線、半蔵門線の急行、特急を作って、もっとアクセスしやすいベッドタウンとなってほしい。</li> <li>○色んな世代の人が楽しめる、アクセスの良い施設ができていてほしい。</li> <li>○駅から近い場所に買い物をする場所を充実させる。</li> <li>○どこへ行っても海外の方がいらっしゃることがあたりまえに。</li> <li>○多国籍なまちづくり。</li> </ul>

		2グループ
	自分の理想の姿	越谷の理想の姿
10 年後	<ul><li>◆医療系の仕事に就く。</li><li>◆結婚して子どもが出来る。</li><li>◆教員</li><li>◆地方公務員</li><li>◆市役所の部長</li></ul>	<ul> <li>○自然豊かな町。</li> <li>○快適かつ自然が残る町。</li> <li>○スーパーや公民館などで交流が多い町。</li> <li>○子ども達が安心して遊ぶことの出来る町。</li> <li>○お年寄りも住みやすい街。</li> <li>○道路など、歩く場所にゴミがないように!!</li> <li>○歩きタバコが減ってほしい。</li> <li>○せんげん台のロータリーが、キレイになっていてほしい。</li> <li>○せんげん台周辺がもっと都会になってほしい。</li> <li>○南越谷駅前の団地がキレイになっていてほしい。</li> <li>○新越谷にユニクロがあったらなぁ。</li> <li>○レイクタウン=越谷のイメージを!</li> <li>○阿波踊り、花火大会が続いている。</li> <li>○フィットネスがブームに!健康なまち。!</li> <li>○教育環境が改善。</li> </ul>
20 年後	●就職した会社で中間管理職ぐらい。結婚はしておきたい。 ●結婚して家庭をつくりたい。 ●仕事が安定し、少し余裕が生まれる。 ●越谷について聞かれたこととか、すぐにわかるようになっていたい。仕事は今のまま。 ●宇都宮or越谷で地方公務員として働いている。	<ul> <li>○外国人も暮らしやすいまちになっていてほしい!国際交流がさかんなまち。</li> <li>○会社のビル、大学、マンションがたくさんある。</li> <li>○東京へのアクセスを充実してほしい。</li> <li>○活動しやすい街になっていてほしい。交通機関とかも。</li> <li>○伝統的な部分を大々的に宣伝して、観光業で盛り上げていきたい。</li> <li>○若い人達が集える場所が多くなっていてほしい。</li> </ul>









11
3 グループ )

### 自分の理想の姿 越谷の理想の姿

10 卷

- ♥公務員試験を今、受けている最中 なので(越谷市を含め)、どこかの 市の職員として働いていると思い ます。宇都宮or越谷に住んでいる 予定。
- ♥越谷で小学校の教師をやってい
- ♥就職して企業で働いている。
- ♥働いて、新越谷駅周辺で1人暮ら しをしている。
- ♥引き続き越谷市に住んでいる。
- ♥引き続き、越谷市役所で働いてい る。

- ○活気ある街であってほしい。
- ○企業がたくさん集まる街であってほしい。
- ○レイクタウン近くに水を使ったテーマパークができ る。
- ○ディズニーランド的なものができている!
- ○大きいイベントホール。
- ○公園。子どもが遊べる所がほしい。
- ○活動できるところ。
- ○色んな世代の人が交流できる。
- ○今までと変わらず、自然的なところと都会的なとこ ろとが一緒になっていてほしい。
- ○レイクタウン以外の魅力(伝統工芸とか住みやすさ とか)が多くの人に広まって、人口が増えていって ほしい。

20 年 後

- ♥地元で働いている。
- ♥働いている。役職につけてたら嬉 しいです。
- ♥好きな時間に好きなことができる 生活を送っている。
- ♥安定した楽しい生活を送っていて ほしい。
- ♥さすがに結婚していたらいいなぁ と…。越谷は住みやすいので越谷 で住み続けたいとは思います。
- ○子どももお年寄りも安心して暮らせる場所になって いてほしい。
- ○どっかの市とかとくっついて大きくなる…とか。
- ○越谷生まれの有名人がいたら嬉しい(知名度が上が
- ○5本の一級河川に掛かる全ての橋が日本一美しい橋 のあるまちになる。
- ○空飛ぶ車で空を旅したい。
- ○子育てをしやすい環境。
- ○自然と都市が調和したまち。
- ○阿波踊り、花火大会が続いている。









4グループ	
gが造られている。 こかができる会場とか?	•
ちになっていてほしい って欲しい。	١

### 自分の理想の姿

# 10 年後

- ◆草加、越谷近辺に住みながら、 その地区の市役所の職員として 働いている。
- ◆就職して働いている。埼玉県内 に居住している(と思う)。
- ◆多分、越谷に住んでいると思う。 働いていると思う。ずっと実家 に住んでいる気がする。
- ◆今、住んでいるところと変わらず、同じところに住んでいると 思います。就職先で楽しく仕事をしていると思います。
- ●40代後半。越谷市に住み続けている。越谷市役所勤務。16才と11才の娘と市内で遊びたい!市内の何かの活動団体に参加する。

### 越谷の理想の姿

- ○大規模なイベントができる施設が造られている
- ○サンシティより大きいライブとかができる会場とかホールがあったら嬉しい。
- ○人の集まる、活気があふれるまちになっていてほしい。
- ○商店街がもっとにぎやかになって欲しい。
- ○今とそんなに変わらないで欲しい。色々増えるとわからなくなってしまうから。
- ○自然がいっぱいのままのまちでいてほしい。
- ○伝統的な風景を残しつつ、国際色豊かになっている。
- ○市民が安心して暮らせる、防犯能力が高く、犯罪件数 の少ない街。
- ○大雨の際に多くの川を持つ街として、氾濫、洪水の被害が少なく、復興が早い街づくり。
- ○今よりも都市へのアクセスがよくなっている(早く、 便利に)。
- ○もう少し知名度が上がっている(スポーツ施設、草加と春日部にはさまれた町として)。

### 20 年 後

- ◆結婚して家族ができて、新越谷 の近くに暮らしている。
- ◆結婚して県内か県外に住んでいる。
- ◆婚期を逃しているはず。
- ♥社会人(重要な役職)
- ◆50代後半。越谷市在住、越谷市 役所勤務。26才と21才の娘が近 くに住んでくれると嬉しい。
- ○工場地帯ができて、外国人の住民の割合が増える。
- ○全国的にいちごが有名になり、観光客が増加する。
- ○<わいのG I 認定。
- ○自動運転のタクシーが急増し、移動が楽になる。
- ○空を飛んでたい。
- ○交通の便がよくなっている.
- ○新越や北越に服屋が増えてほしい。
- ○若い人も立ち寄れる店が増えている。
- ○みんな阿波踊りが踊れる、越谷市ソングが唄える。
- ○坂がない町→お年寄りにやさしいまちとして好評に。 永く住みつづけたいまちとして評判に。
- ○災害に強い都市として移住増。
- ○魅力的なまちに。
- ○昔のきらびやかな公共施設に戻る。



## 越谷の『妄想年表』を考えよう!

『わたしの中にある「越谷の記憶」』と『10年後のわたしと越谷』と 『20年後のわたしと越谷』から、10年後の越谷を妄想し、意見をまとめました。

### ① 越谷市の理想の人口(人口構成)と姿

【グループ1】

人 口:35万人

人口構成:20代、30代、40代の割合が今より増え

ている→子どもの増加も見込める。

理想の姿:・どの世代も楽しめる町

・都市の中に自然がある町

・多国籍な町

・若者の活気がある町

【グループ2】

人 口:34万人

人口構成:外からの若者を増やす

理想の姿:・様々な年齢層の人口が偏らずに、

散って共生する

【グループ3】

人口:35万人

人口構成:色んな世代がいる

理想の姿:・人が集まる場所

・色んな世代の人が交流でき

る場所、環境

【グループ4】

人 口:40万人

人口構成:14才以下30%。あとはバラン

スのある構成

理想の姿:・にぎわいのある街

・子どもも高齢者も元気に!

### ② 越谷市からなくなって欲しくないもの・こと

### 【グループ1】

- ○昔ながらの景観
- ○伝統工芸品 (だるま、灯籠)
- ○祭り

### (理由)

- ・観光客の取り込み
- ・外国人への売り出し
- 昔ながらのものを残すことで、下の世代に伝えていくことができる。

### 【グループ2】

- ○田んぼ(アート)
- ○祭り(花火大会、阿波踊り) (理由)
- 田んぼがめずらしい。
- 祭りはみんなが楽しめるから。

### 【グループ3】

- ○レイクタウン
- ○花火大会、阿波踊り
- ○桜などの自然

### (理由)

- 人が集まらなくなってしまうから
- ・越谷の魅力だから

### 【グループ4】

- ○祭り
- **○伝統工芸品(だるまなど)**
- ○町屋古民家
- ○豊かな自然
- ○越谷駅前の通り (BOOKOFFとか)
- ○商店街
- ○大学
- ○ベッドタウン

### ③ 新しく越谷市に生まれて欲しいもの・こと

### 【グループ1】

- ○美術館、博物館など(遊べる施設)
- ○「体験」できるもの
- ○より便利な公共交通機関 (特に東西) (理由)
- ・「どの年代」から学生も行ける施設。
- 市内の移動を便利にしたい。
- ・10代のうちに好きになったもの
  - →将来の夢や目標に。

### 【グループ2】

- ○近くに若い人たちが遊んだり、買い物できる所
- ○水族館、プラネタリウム、ライブ会場 (理由)
- 物があれば人が集まる。
- ・レイクタウンしかないから。





HANABUSA DESIGN

### 【グループ3】

- ○人が集まれる場所(イベントホールや公園など)
- ○みんなが参加できるイベント

### (理由)

- ・人との交流は大切だから。
- いくつになっても暮らしやすい環境、楽しめるところになると思うから。

### 【グループ4】

- ○蒲生か大袋が下町的なにぎわい
- ○日本語学校
- ○若者が行きやすい駅近の商業施設
- ○竜巻、洪水、地震に強いまち→防災のまち
- ○若い人や小さい子が伝統工芸品にふれ合える場所
- ○老人、中年、若者が交流できる場所
- ○若者やクリエイターが集える場
- ○美術館
- ○水郷越谷らしい美しい橋
- ○学校、駅、公共施設、橋をもっとランドマーク的に!!
- ○高齢者、障がい者、外国人も住みやすい、やさし い便利なまち

## 「感想カード」

今日、参加して感じたことなど、自由に感想カードに記入していただきました

### 有意義な時間だった

- ○前回も参加したのですが、前回より内容が難しかったなと感じました。10年後とか20年後とか、わからない先の話だったけど、未来の越谷市について考える機会はあまりないので、楽しかったなと思いました。
- ○今回、10年後、20年後の理想の越谷ということで話し合いをしたのですが、どれも実現出来そうだなと思いました。私は将来、国際関係の会社を起業したいと考えているので、今回の話し合いで出た国際関係のものをサポートしながら実現していきたいです。とても良い経験でした。ありがとうございました。
- ○今日はこのような活動に参加でき、とても有意義な時間でした。自分だけに見えている景色の他にも、他の人に見えている風景であったり、人それぞれの環境の中で役割を果たしている越谷を知れて良かったです。私はこれからも何らかのかたちで越谷には関わりを持つと思うので、今回の様々な人の話を思い出したりしながら過ごしていければいいと思いました。

### 越谷の魅力に気づけた

- ○これまでに自分たちの住んでいる町について 今日ほど深く考えたことはなかったので、と ても貴重な体験でした。他の方の意見も聞く と、自分とは全く違う着眼点や発想で、自分 自身にとってもプラスになりました。さらに、 周りの方たちからほめていただいたりなど、 自信にもなったので伸ばしていきたいです。
- ○今回のまちづくり懇談会で、初めてこんなにも越谷のことを考えました。今の現状を維持することの大切さ、課題などが見つかりました。今の越谷市があるのも、今、越谷に住んでいる人たちのおかげです。今日はありがとうございました。
- ○他の若い世代の人たちの意見が聞けて楽しかった。高校生が見たところ多く、大学生の自分はアウェイになるかと思ったが、そうでなくて良かった。言い残した事…農業の振興(くわいを始めとした農作物など)をもう少しすべき。また県内でとれたものの6次産業化などを推進してみたりすることなど。また一級河川が5コもあるというのを活用し、川の博物館、水族館や洪水被害対策の実際にやっていることなどを市民に分かるように展示できる施設がほしいと思った。また今後、空き屋なども増えると思うため、その政策など。
- ○越谷に来て1年半ぐらいで、この町のことを ほとんど知りませんでしたが、プロモーショ ン・ムービーや話し合いなどで、越谷の伝統 など多くの魅力を知ることが出来ました。将 来、越谷に住むかは未定ですが、高校を卒業 し、越谷に行く必要が無くなっても、またも う一度来たいと、今回の懇談会で思うように なりました。貴重な機会、ありがとうござい ました。
- ○1回目から参加させていただいて、改めて自 分が生まれ育った越谷の魅力を知ることがで きた。大学生の視点では気づかなかったとこ ろを高校生が教えてくれたり、色んな人々と 交流できてとても貴重な体験だった。今回の 交流で、越谷の理想像ができてより良い町に なるように、自分も力になりたいと思いまし た。

- ○とても良い企画でした。草加生まれ、草加育ちでも、色々と考えさせられる内容でした。 公立の小中学校でやってみてもとても面白いと思います。越谷は市街化区域と市街化調整 区域が良いバランスで区分けされており、都 心に近いながらも田舎を感じさせてくれる街です。ベッドタウンとしての利用もさること ながら、市内で多くのモノがそろうのも魅力 的でした。
- ○私はまだ住み始めて1年半ぐらいなのですが、それでも感じること、考えることはたくさんあるのだと気づかされました。また都市計画や行政というと、大人が考えることというイメージがあったのですが、同じ世代の人達と話し合うことで、若者も様々な意見をもっていることがわかりました。このような話し合う機会が増えていくといいと思いました。地元のことについても改めて考えたり、調べてみたくなりました。初めての経験で学ぶことが多かったです。ありがとうございました。
- ○今回、10年後や20年後の越谷について考えてみて、やはり故郷について考えることは重要なことであると感じました。住民がその地域について考えないと、故郷は発展しないのだとも感じました。今回持ったこの思いを、周りの人達にも伝えていきたいと思います。
- ○越谷市の10年後、20年後を考える機会はあまりないので、とても貴重な時間だったなと思います。これからの越谷は人口が減少していくかもしれませんが、今あるものを残しつつ、全世代にとって住みやすい市になれるよう、私も様々な集まりに参加したときに、魅力を知れるように伝えていきたいです。
- ○一つのまちについて、初めて本気で考えることができた。同じ学生でも、とても考えされるような発言もでて、すごく刺激的になれた。越谷の町のよさを改めて知った。10代~20代の中で、これだけ将来の事を語り合えるということは多くはない。今後もぜひ、この企画をつづけてほしい。

### いろんな人と話せて良かった

- ○市の未来についてじっくり考えたことがなかったので、とても貴重な機会になりました。 私は埼玉県民ではないので、埼玉の選挙に行くことはできませんが、愛着のある越谷が今後も発展していったらいいなと思っています。同世代の方々と自分の意見を言い合うことができて楽しかったです。ありがとうございました。
- ○今日、10年後、20年後の自分の姿や越谷の姿を考えて、自分の未来などのことを想像するのは難しくて大変だったけれど、他の人の考えや自分の考えなどを言い合って話し合って、越谷の姿などの実感が湧き始めました。10年後も20年後もずっと越谷市は住みやすくて活気がある市であってほしいなと思います。また私はこの先も、越谷に住み続けたいなと思いました。
- ○この懇談会で、色々な人の意見を共有できて 良かったと思います。国際系や福祉、都市政 策を子どもの視点から、将来の越谷市につい て語ることができてとてもタメになりまし た。また、越谷を中心に活動しているデザイ ナーさんの越谷を熱く語られているのを見 て、とても感動しました。自分の出身地では ないところでも、こんなに愛している姿がと ても印象的でした。
- ○第1回目、2回目と両日参加したのですが、 どちらの回も越谷の魅力や、どんなものがあ るともっと良いまちになるかなど、色んな方 の意見を聞くことができ勉強になりました。 またこのような機会があれば参加し、今回、 話にあがっていたこととどう変化したのかな ど、また交流ができたらいいと思いました。

### 若手職員の感想

- ○これからの時代を担う若者の考えは大変参考になった。今日、若者たちが語った理想の" 越谷"を実現するために頑張っていきたい。 皆様、ありがとうございました。
- ○市職員として参加し、立場も世代も異なる方々との意見交換は新鮮でした。参加してくださった皆さんが、それぞれの越谷との接点をとおして観光、商業、インフラ、人口やまちの雰囲気をどんな風に感じ、今後どうなってほしいかということを現実的な施策や条件とは別で、自由に考え、意見交換できたことは貴重な体験だったと思います。
- ○先週に引きつづき色々な意見をきくことができました。「若者」と話をし、多世代との交流について興味をもっていることがわかり、少しおどろきました。 地域参加や他の世代との交流の場を作っていきたいと思いました。また「若者」が住みたいと思う街についてきけてよかったと思います。
- ○普段では交流の少ない学生の皆さまと意見交換ができ、とても有意義な懇談会だった。若者ならではの柔軟かつ真剣な意見は、新たな気づきにもつながり、今後の業務の参考としたい。



HANABUSA DESIGN

発行:越谷市 市長公室 政策課

TEL: 048-963-9112/FAX: 048-965-6433

都市整備部 都市計画課

TEL: 048-963-9221/FAX: 048-965-0948